

台風11号が2015年7月3日に発生し、強い勢力で日本列島に接近。7月16日～17日にかけて四国・中国地方を縦断し被害をもたらした。ドコモの通信設備もその影響を受けた(停電、伝送路断)。

ドコモは被災エリアの通信を確保するため復旧措置対応を実施した。

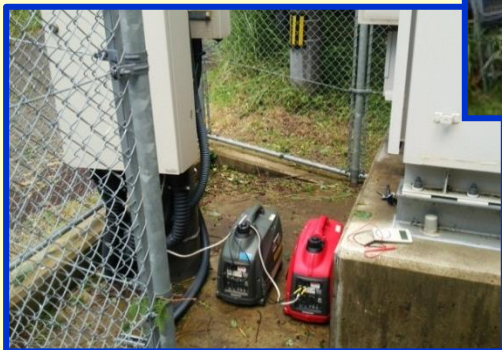
停電への対応

四国では広域に停電が発生した。ドコモの基地局は停電対策としてバッテリー等を設置しているが、停電が長期化するとバッテリーも枯渇するため、移動用電源車や発動発電機による救済を実施してサービス中断を未然に防いだ。



倒木による電力線断

発動発電機



移動電源車

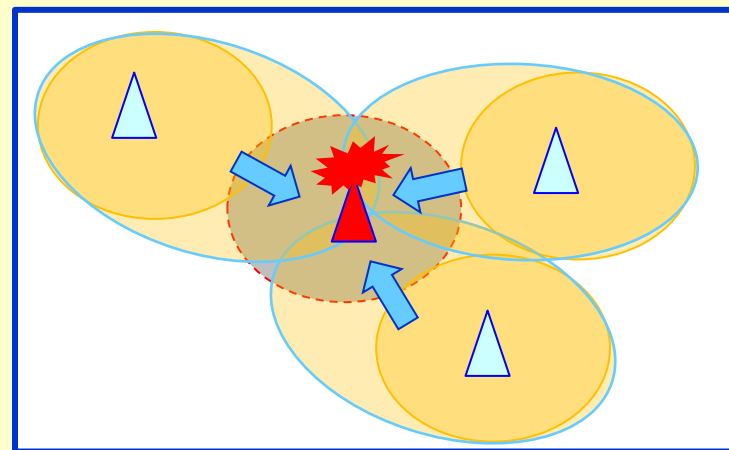


伝送路断への対応

四国・中国地方の一部基地局において、伝送路の断により基地局のサービス断が発生した。

サービス断となった基地局に対して、周辺の基地局の電波の発射方向を変えて(チルト変更)、エリア救済をすることで迅速にサービス復旧を行った。

周辺基地局のチルト変更によるエリア救済



岡山県、高知県にて上記措置を実施